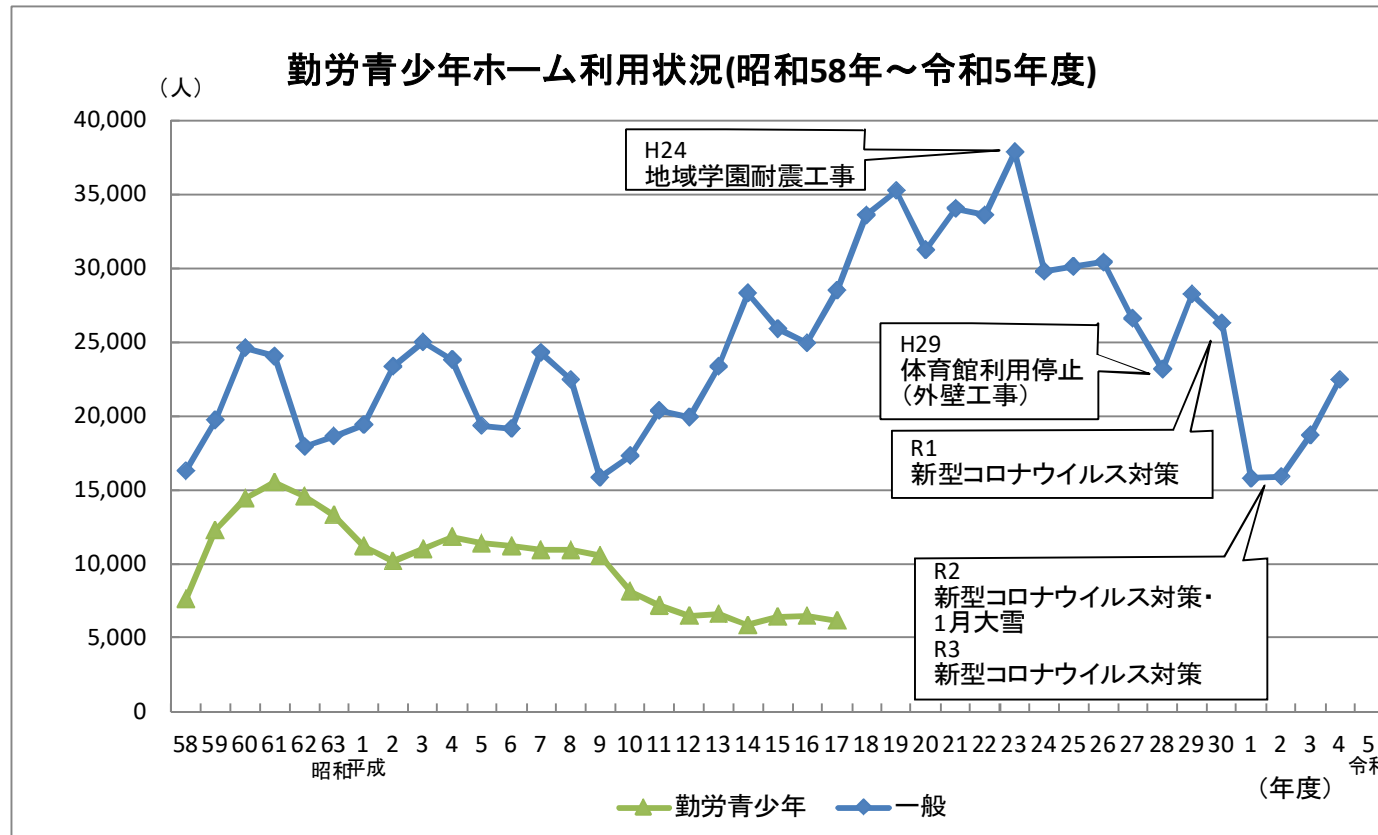


[勤労青少年ホーム利用者数]

年度	勤労青少年	一般	計
昭和 58	7,647	8,584	16,231
59	12,293	16,301	28,594
60	14,444	19,695	34,139
61	15,509	24,655	40,164
62	14,545	24,036	38,581
63	13,318	17,947	31,265
平成 1	11,190	18,662	29,852
2	10,190	19,396	29,586
3	10,984	23,346	34,330
4	11,831	25,004	36,835
5	11,383	23,825	35,208
6	11,201	19,327	30,528
7	10,948	19,179	30,127
8	10,934	24,329	35,263
9	10,561	22,461	33,022
10	8,115	15,844	23,959
11	7,167	17,311	24,478
12	6,475	20,339	26,814
13	6,606	19,908	26,514
14	5,863	23,346	29,209
15	6,435	28,330	34,765
16	6,474	25,909	32,383
17	6,154	24,972	31,126
18	(注1)	28,490	28,490
19		33,623	33,623
20		35,265	35,265
21		31,244	31,244
22		34,072	34,072
23		33,626	33,626
24		37,854	37,854
25		29,808	29,808
26		30,077	30,077
27		30,445	30,445
28		26,576	26,576
29		23,176	23,176
30		28,266	28,266
令和 1		26,278	26,278
令和 2		15,808	15,808
令和 3		15,905	15,905
令和 4		18,691	18,691
令和 5		22,466	22,466



※平成24年度は、新津地域学園耐震工事があり、代替施設として利用増となった。

※平成29年度は、外壁工事のため4月～8月にかけて体育館の利用停止があり、利用減となった。

※令和元年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月に体育館の利用休止があり、また、他の貸室についても利用の自粛を求めたことから利用減となった。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館(4月13日～5月31日)や、冬の大雪により利用減となった。

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館(9月3日～16日、1月21日～3月6日)により利用減となった。

※令和5年度は、5月8日に新型コロナウイルスが5類感染症へ移行し、前年度より利用増となったが、コロナ禍以前の利用者数には至っていない。

(右表注1)平成18年度より「勤労青少年」と「一般」の区分がなくなり、統計上一つにまとまっている。